



せいひ会だより

2012年(平成24年)
2月1日発行
<第142号>
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>



せいひ会の初詣



GH



初詣が習慣化したのは、それほど古い時代ではなく、明治中期頃といわれています。せいひ会でも毎年、正月三が日に住吉本宮・生長の家総本山に参拝しています。参拝したあと、お守りや破魔矢など買ったり、絵馬に願い事や目標を書いたりが一般的ではあります。飲むと厄除けになるとされる甘酒やお神酒が、お目当ての1つです。今年一年がよい年でありますように。

1月の行事

- 1日 中山神社新年祭(通所・GH)
- 1~3日 初詣(せいひ会)
- 4日・18日 書道教室(元亀・通所・丘の家・GH)
- 16日 誕生会(元亀・通所)
- 25日 バイキング(風和)
- 28日 カフェ元亀の里(元亀)
- 28日 消火訓練(風和)
- 31日 通報訓練(元亀・GH・通所・丘の家)



2月の行事予定

- 1日 「喫茶 やぶこうじ」オープン(寿限無)
- 1~7日 写真展(寿限無)
- 3日 節分の行事(風和・寿限無・GH)
- 5日 豆まき(元亀)
- 1日・15日 書道教室(元亀・通所・丘の家・GH)
- 20日 誕生会(元亀・通所)
- 24日 歌の発表会(風和)
- 24日 通報訓練(風和)
- 25日 カフェ元亀の里(元亀)



☆1月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



バースデインパニー

今回は風和の里・立石ミドリ様にお話を伺いました。

大正12年、福岡県行橋にて7人兄弟の長女として生まれる。

子供の頃、祖母が食料品や生活用品を売る商店を営まれ、商品が店に届いた際には、店に並べるより先に髪飾りなどをプレゼントしてくれたと話されていた。

体を動かすことが好きで、「すごく速いってわけではないけど、足は速かったです」と話される。また、「子供の頃は、髪を伸ばしていたけど、周りの子がみんな短くしていたから、親に隠れて髪を切ったら怒られた」と笑っていた。

学校卒業後、北九州小倉の軍の施設で機材などの手入れをして働かれた。「その仕事は長くは勤めずに辞めて、薬局で働いていたの」と話される。

21歳の頃結婚したと言われるも「正確な歳は覚えてないよ」とのこと。ご主人は長崎出身の方で、医師の診断のもと代診をしていた。

結婚後は3人の子供に恵まれ、家庭を支えていた。その後、ご主人が病に倒れ他界される。それから長崎のご主人の実家へ入り、10年間色々な仕事をしてきたと話される。

しばらくして縁あり再婚される。「農林水産省で働き、真面目な人でしたよ」と話される。この時から「畑仕事をしたり、花を育てたりしていました」とのこと。その傍ら、大正琴や和裁などの習い事に励まれていたそうだ。

今では「ここでの俳句の会や五目並べをして皆さんと過ごすのが楽しい」と話される。

最後に「山あり谷ありの人生だったけど、とても幸せな生活でしたよ」と答えて下さいました。

お誕生日おめでとうございます。

「Vitality Space」
バイタリティースペース

い
ま
す。
そ
の
活
動
を
紹
介
さ
れ
る
皆
生
命
力
の
活
動
で
活
力
に
は
活
こ
の
元
イ
タ
リ
テ
イ
の
力
に
あ
ふ
れ
て
あ
り

お正月
孫やひ孫とランブル取り
ても子供に勝てず

立石ミドリ

風吹いて
私のハンド
つと待ちます
花咲く春を

竹下晶子

うたの時間



通報訓練



1月31日、新人職員や夜勤職員を中心として通報訓練を実施しました。非常通報装置などを使用する機器の説明を受けた後、実際に119番への通報を行いました。消防署へ通報する機会はめったにないため、「緊張した」「何を聞かれるか分かり勉強になった」などの声が参加者からは聞かれていきました。

元亀 カフェ元亀の里



昨年10月から、元亀の里内に月に一度オープンしているカフェ元亀の里。ちんどん屋や時にはサンタクロース等に扮した職員が施設内を練り歩いて宣伝し、利用者やご家族の皆様をカフェへとお誘いしています。飲み物もコーヒー・紅茶・ココアの中からお好きなものを選べ、憩いの場としても好評です。是非一度お立ち寄りください。



ご来店、
お待ちして
おります!!

インフルエンザ等の感染予防について

インフルエンザ、ノロウイルス等の感染予防の為、施設来苑時のマスクの着用・手指消毒、体調が悪い方の面会の自粛などを実施しています。
皆様方のご理解とご協力をお願い致します。



ケアマネ 敏美 の独り言

〈真実〉

真実とは何だろう？ふとと思った。この福祉の世界に飛び込んで早や四半世紀！！物事をいろんな視点で見ることを学んだ。自分にとって非常に成長させられた要素であることは間違いない。ただ時に「多視点」で物事を見る癖がついたせいか「真実が何か」見えなくなる時がある。混沌とした時代もあるのかもしれない。ただ、真実を導き出せずに自分が苦しむ自分がそこにいる。そんな時は真剣に物事に向かうようになっているが「どツボ」にハマる。ならばと物事を軽視してみると「許せない自分」が必ずそこにいる。若い頃は「怖いもの知らず」で「これと信じた道」を突っ走ってきた。良きにしろ、悪きにしろ・・。なのにこの年になるとなぜ出来なくなるのだろうか？仲間達からは「それが大人になった証拠」とか「冷静に物事を観れるようになったから」とか言われるが自身では何か違う気がしてならない！以前読んだ本に「仕方ないと諦める大人にだけはなりたくない」・「前は敵、後ろには地雷。ならば迷わず前に進め」と書かれていた。
その言葉を噛み締めながら今日を頑張ろう！！

